

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 3 月 1 日(2022.3.1)

【公開番号】特開 2020-56493(P2020-56493A)

【公開日】令和 2 年 4 月 9 日(2020.4.9)

【年通号数】公開・登録公報 2020-014

【出願番号】特願 2019-72575(P2019-72575)

【国際特許分類】

F 1 6 F 15/30(2006.01)

10

F 1 6 F 15/134(2006.01)

【F I】

F 1 6 F 15/30 Z

F 1 6 F 15/134 A

F 1 6 F 15/134 B

F 1 6 F 15/134 D

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 2 月 16 日(2022.2.16)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 4】

前記第 1 ダンパ部は複数の第 1 弾性部材を有し、

前記第 2 ダンパ部は複数の第 2 弾性部材を有し、

前記第 1 伝達部材は、

円板状の本体部と、

前記本体部から径方向外方に突出して前記チャンパ内に進入し、複数の前記第 1 弾性部材との間で動力を伝達する複数の係合部と、

30

を有し、

前記連結部材は、前記第 1 回転部材の軸方向の第 1 側の側面に沿って径方向外方に延び、内周端部が前記第 1 伝達部材の本体部に連結された円板状のプレートであり、

前記第 2 伝達部材は、

前記第 2 回転部材の軸方向の第 1 側において前記連結部材の側面に沿って延び、前記インナーシャ部に固定され、前記第 2 弾性部材を保持する第 1 保持部を有する第 1 保持部材と、前記第 2 回転部材の軸方向の第 2 側に前記第 1 保持部材と対向して配置され、前記第 1 保持部材に固定され、前記第 1 保持部とともに前記第 2 弾性部材を保持する第 2 保持部を有する第 2 保持部材と、

40

を有する、

請求項 3 に記載の動力伝達装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

さらに、好ましくは、第 2 伝達部材は、第 1 保持部材と、第 2 保持部材と、を有する。第 1 保持部材は、第 2 回転部材の軸方向の第 1 側において連結部材の側面に沿って延び、

50

ナーシャ部に固定され、第 2 弾性部材を保持する第 1 保持部を有する。第 2 保持部材は、第 2 回転部材の軸方向の第 2 側に第 1 保持部材と対向して配置され、第 1 保持部材に固定され、第 1 保持部とともに第 2 弾性部材を保持する第 2 保持部を有する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 1】

以上のような構成により、第 1 回転部材 1 の内部には、第 1 プレート 1 1 の外周部と第 2 プレート 1 2 (環状部 1 2 a 及び外周筒状部 1 2 b)とによって囲まれたチャンバ C が形成されている。このチャンバ C の内部には、グリス等の粘性流体が封入されている。

10

【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

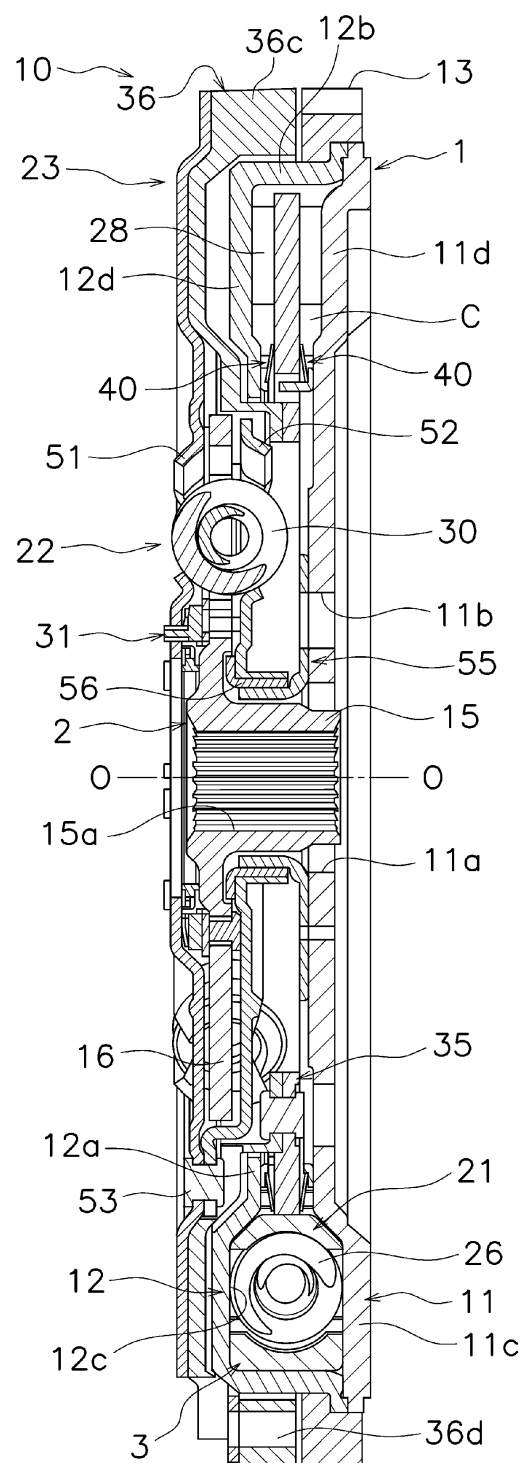
20

30

40

50

【圖 1】



10

20

30

40

50